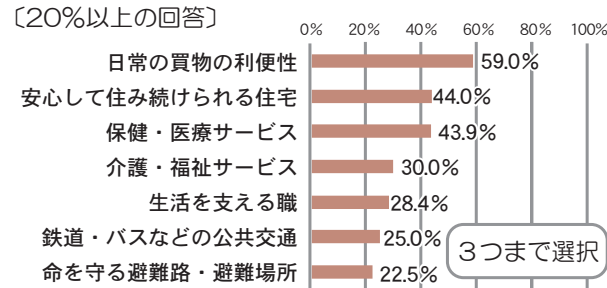


現在 安心して暮らすために重要なこと

「日常の買物の利便性」が重要と考えている人が59.0%と最も多く、次いで「安心して住み続けられる住宅」が44.0%、「保健・医療サービス」が43.9%となっています。

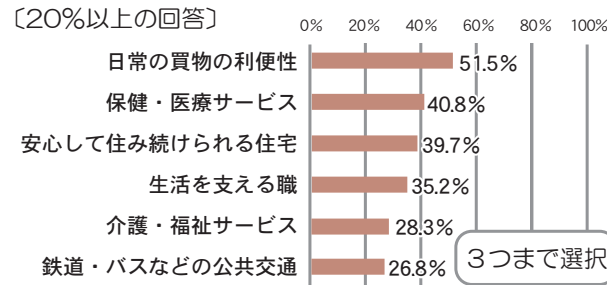


～その他の選択肢～

地域の絆・コミュニティ／子どもの教育環境／子育て環境・子育て支援サービス／高度な情報通信の環境／公民館等の公共施設／生涯学習の機会／祭りなどの伝統文化／その他

より多くの人定住したくなる条件

「日常の買物の利便性」が重要と考える人が最も多く、51.5%です。次いで「保健・医療サービス」「安心して住み続けられる住宅」「生活を支える職」となっています。



～その他の選択肢～

命を守る避難路・避難場所／子育て環境・子育て支援サービス／子どもの教育環境／地域の絆・コミュニティ／高度な情報通信の環境／祭りなどの伝統文化／公民館等の公共施設／生涯学習の機会／その他

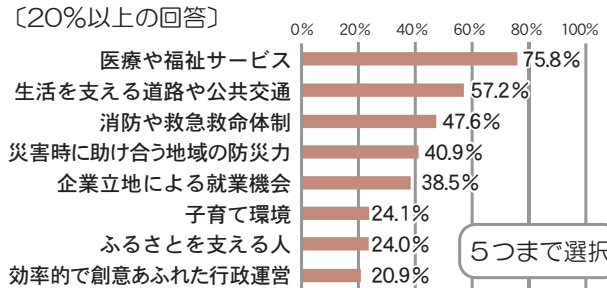
今後の町政の姿勢

行政運営上、「町民と団体、行政の連携と協働」が重要とする人が19.8%となっています。次いで、「コンパクトで身の丈にあったまちづくり」が18.2%となっています。

設 問	構成比
町民と団体、行政の連携と協働	19.8%
コンパクトで身の丈にあったまちづくり	18.2%
近隣市町との広域的な連携	15.9%
役場組織の効率化・合理化	14.2%
創意あふれる役場職員の育成	11.3%
民間の経営手法を取り入れた行政サービス	8.3%
限られた財源での施策・事業の選択と集中	6.9%
町が行う施策・事業の成果の評価と改善	5.5%
その他	4.9%
無回答	4.8%

将来 暮らし続けるために重要なこと

「医療や福祉サービス」が重要と考えている人が75.8%と最も多く、次いで「生活を支える道路や公共交通」が57.2%、「消防や救急救命体制」が47.6%となっています。

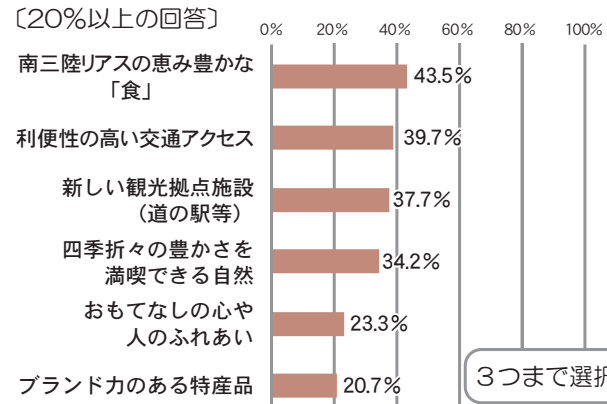


～その他の選択肢～

あたたかなふれあいのある地域／町の魅力を最大限に活かした観光や交流／豊かな自然環境／学校教育や生涯学習機会／情報通信環境／スポーツや芸術文化活動／その他

多くの人が訪れたいくなるための魅力

「南リアスの恵み豊かな『食』」が重要と考える人が最も多く、43.5%です。次いで「利便性の高い交通アクセス」「新しい観光拠点施設（道の駅等）」となっています。



～その他の選択肢～

自然や産業を活かした体験交流機会／津波の教訓伝承／来訪者を守る避難路・避難誘導標識／応援ボランティア・応援自治体との継続的な交流と連携／常に新鮮な観光交流の情報／新しい行事やイベント／祭りなどの伝統文化／歴史遺産（史跡・文化財等）／その他

●回答してくださった皆様●

〔居 住 地〕 志津川と歌津は、それぞれ30%前後、戸倉、入谷、登米市内がいずれも10%前後
〔被災状況〕 住まいに被害のあった方が68.6%
〔年 齢〕 家族の代表で回答いただいた方の年齢は、60代の方が29.9%と最も多く、50代が24.8%
〔今後の居住〕 今後、南三陸町内に住みたいと回答している方は78.5%
〔今後の就業〕 今後、南三陸町内で働きたいと回答している方は59.6%（主に生計を担っている方）

ご協力ありがとうございました！

『南三陸町のこれからのまちづくり意向調査』 調査結果の概要を報告します。

調査の目的

○南三陸町では、震災復興計画（平成23～32年度）の後半5年の取組みを包含しつつ、計画期間終了後の中長期的な将来像実現に向けた取組みを円滑に進めることができるよう、震災復興計画の見直し（次期総合計画の策定）の検討に着手します。

震災復興計画（平成32年度まで） ……復興しながら発展していく時期

次期総合計画（平成37年度まで） ……持続可能な地域社会を育てていく時期

○検討にあたり、震災復興の進捗に対する実感、将来の町のあり方や今後のまちづくりを進める上での重要な視点（課題）などについて、町民の皆様の意向を把握することを目的として、この調査を実施しました。

広報みなみさんりく（8月号）と一緒に全世帯に配布し、代表の方に、ご家族の意見を回答していただきました。（郵送回収）

調査の方法

〔調査対象〕 町内全世帯 5,190世帯

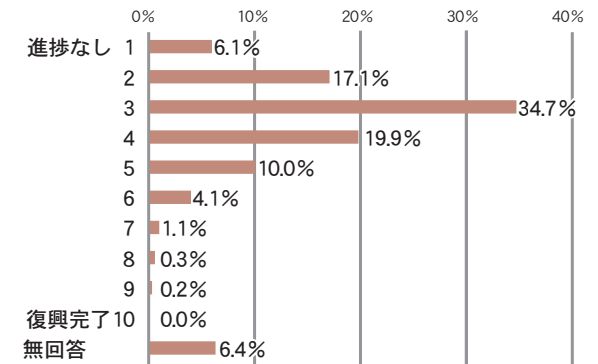
〔回 収 票〕 1,146票 （回収率：22.1%）

〔調査期間〕 8月1日（金）～17日（日）（投函締切）

復興の進捗とスピード

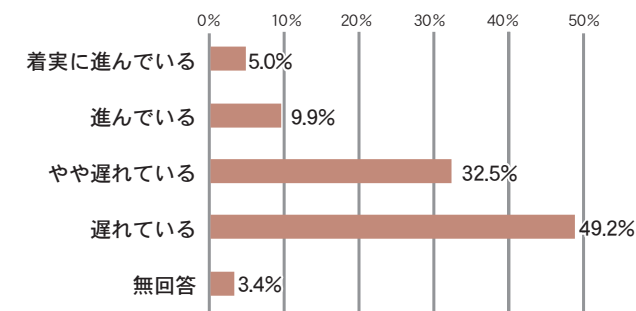
【復興の進捗】

10段階で3と感じている人が34.7%で最も多く、2～4の合計で71.7%です。



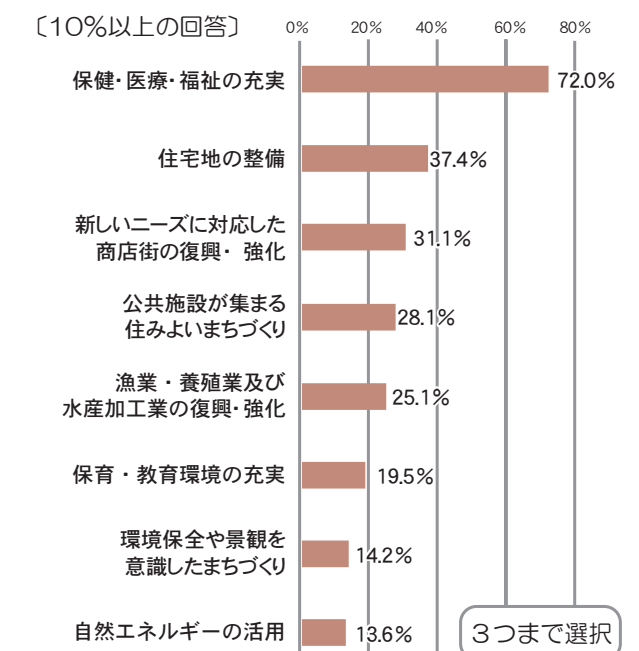
【復興のスピード】

「復興が着実に進んでいる」「進んでいる」と感じている人は、あわせて14.9%です。



復興まちづくりに望むこと

「保健・医療・福祉の充実」が72.0%と最も多く、次いで「住宅地の整備」が37.4%となっています。



～その他の選択肢～

災害記録の保存や防災教育の実施／農業や林業の復興・強化／風土・文化を活かしたまちづくり／その他

問い合わせ 企画課政策調整第1係 ☎46-1371